

気づき、考え、実行する さし人つうしん



学校HP

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.18
令和5年12月15日
文責：校長 松野克己

全校ハッピーたてわりタイム



めいろコーナー

ほとんどの小学校には1年生から6年生までの異学年で構成する「たてわり班」というグループがあります。本校にも14(最小28)のたてわり班があり、いっしょに遊んだり掃除をしたりという活動をしています。この活動は、上級生のリーダーシップが育つことや下級生の「こんな上級生になりたい」というあこがれにつながるといったよさがあり、子供にとっての小さなコミュニティー(共同体)となっています。

12月6日(水)は、このたてわり班活動で1年で最も規模の大きいイベントである「ハッピーたてわりタイム」を行いました。「ころがしドッジ」「ジェスチャーゲーム」「新聞クイズ」「宝さがし」「めいろ」「だるまさんが転んだ」の6つのコーナーが2カ所ずつ校舎内に配置され、全てのグループが全てのゲームを約10分ずつ楽しめます。全校ゲームセンターというイメージですね。次々に移動するので迷いそうですが、6年生がしっかり道

案内をしていました。また、勝ち負けがあるゲームでも、あまりこだわらず、それぞれのゲームを笑顔で楽しんでいました。どうしても密になるのでコロナ禍ではこういう形式でできなかった活動ですが、やれてよかったという満足感がありました。子ども達の屈託のない笑顔を見ると、私たち教職員も笑顔になってしまいます。終わった後は6年生に対し「道案内をしてくれたので迷いませんでした。ありがとうございました。」といった感謝のメッセージがたくさん見られました。6年生にとっては、このような活動を通して最上級生としてのプライドが育ち、それが下級生に対する日常のお手本への意欲づけになっていきます。



だるまさんが転んだ

3年生玄海漬見学

11月にはクジラ教室で学んだ3年生。今回はそのクジラを使った郷土の味とも言える玄海漬の工場を見学させていただきました。どんなことを教えてもらい、どんな体験をしたのでしょうか。

12月5日(火)の3年生の玄海漬の見学では、玄海漬についてのお話や、オリジナルのラベル作り体験、工場の見学などをさせていただきました。玄海漬についてのお話では、使われている部位や作業工程、クジラ以外の商品の紹介をしていただきました。オリジナルのラベル作り体験では、クジラの軟骨の粕漬に、自分でラベルをデザインして、お土産として持たせていただきました。工場の見学では、工場内でされている作業を見せていただいたり、さわらの西京焼きを伸ばす体験をさせていただいたりしました。子ども達は、なかなかできない体験をすることができ、とても楽しそうに活動していました。この学習で、見たり聞いたり体験したりしたことが、これからのまとめの学習に活かされていくかと思えます。(記:3の2担任 井本教諭)



【話していただいた内容】

- ・クジラの大きさ(だいたい25m) ひげは、1m50cmくらいある。
- ・歯のあるクジラ(ハクジラ)は、いかや魚を食べる。歯のないクジラ(ひげクジラ)は、プランクトンを食べる。
- ・今、玄海漬では、ミンククジラの「かぶら骨」という軟骨を使って、クジラの軟骨の粕漬を作っている。
- 使わない部位は、スーパーのお刺身などにされている。
- ・昔は、唐津でとれたクジラだったが、今は、南極や北極のクジラを使っている。
- ・かぶら骨30kgから、50gの商品が3000袋くらいとれる。
- ・ほとんどの作業を人の手でやっている。一番大変なのは、酒かすを足で踏み込んで、熟成させる作業。
- ・クジラのほかに、さわらや鯛、ブリ、ひらす、ふぐなども漬けている。ドライフルーツ漬けもある。

2年生町たんけん

2年生が12月6日(水)に町探検に行きました。佐志の町にあるお店や施設を訪問し、お仕事について学んだり、佐志の町への親しみを深めたりことが目的です。今年は、



鎮西モータース、ヤクルト、Loop、郵便局、セブンイレブン、玄海漬、交番、黄金堂、ガソリンスタンド、増田鮮魚店、いばらきや、唐房米穀の12か所を訪問しました。子どもたちは班ごとに3か所ずつ回りました。事前に考えた質問に答えていただいたり、普段見られない場所を見せていただいたり、充実した時間を過ごせました。ご協力いただいたお店や施設のみなさまに感謝です。(記:2の1担任榎教諭)



唐津市火災予防ポスターコンクール入選
4年 藤本結希
佐賀県文化芸術作品展審査員特別賞
2年 濱田航輝



冬休みの安全でお子さんへの目配りをお願いしたいこと

14日(木)の授業参観、やや肌寒い天候でしたが、今回もたくさんの保護者の皆さんに来ていただきありがとうございました。1年生の昔あそびや6年生のペーパークラフトなど、今回は親子一緒に活動がいくつか見られました。さて、まもなく冬休みに入りますが、子ども達には健康で安全な年末年始を過ごして欲しいものです。児童には「冬休みのくらし」などを使って指導をしますが、ご家庭でも重ねてご指導と目配りをお願いしたいことを書きだします。

○交通事故にあわない・起こさない

冬休みは師走の慌ただしさや年始の行楽等で校区の交通量が増えることが予想されます。飛び出しや自転車の危険な乗り方については地域の方からの連絡もあっています。命に関わります。安全第一で。

○SNSはマナーやルールを守る

社会的な問題であるSNSをめぐるトラブルは、本校児童も無関係ではありません。いじめにつながるような書き込みや事件に巻き込まれるような使い方は、保護者の責任でご指導ください。

○金銭トラブルに巻き込まれない

お年玉は子供にとってお正月の大きな楽しみでしょう。ただ、お金や物の貸し借りによるトラブルが起きやすいのも冬休みの特徴です。